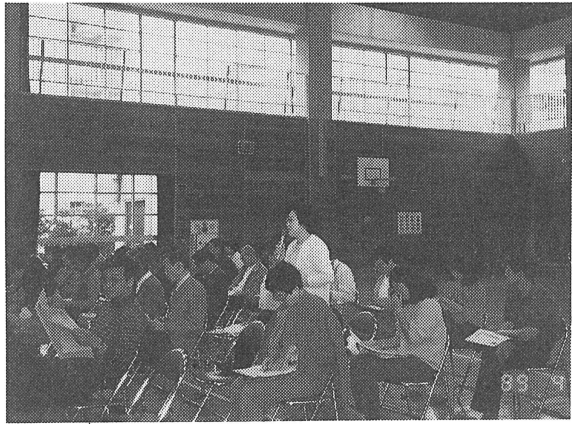




ゆり北

第61号(7期第1号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉柳俊孝

駐車場問題・家賃問題に 具体的な取り組みを！

——活発な意見で総会終了——

自治会創立五周年も過ぎ、また新たな問題も生じてきました。施設や設備環境の問題、会員の親睦など山積みしています。暮らしに密着した、積極的な活動をしてゆきたいと考えます。

第七期総会は、四月二十三日(日)午後一時すぎより、赤塚新町小学校体育館で開かれました。

総会には出席会員六二名、委任状提出は三三八名、計四百名(会員の六十五%)で成立しました。

議長に宮島(二一三〇八)、伊勢(四一三〇六)の両氏を選出、吉柳会長より「この一年間、さまざまな活動に取り組んできて、コミュニティの輪も広がった。今年は、住まいの問題を柱にして、取り組んでいく方針を提案したい。」と冒頭の挨拶があり、来賓の安藤駿英赤塚新町小学

計監査報告を柳沢会計監査から受け、一括承認されました。引き続き、今年度活動方針を渡辺(継)副会長、会則改正案を小山副会長、会計予算案を加賀谷会計から提案されました。十一名から質問、意見が出され、役員からそれぞれ応答がありました。

「住い」に重点の活動を

自治会長 吉柳俊孝

団地内の緑がいつそう濃くなっ

てまいりました。ゆりの木の幹も

また一まわり大きくなり、新町公

園前の通りはけやきのトンネルに

育っています。

四月二十三日の総会で、引き続

き自治会長に選出されました。

今年度は、家賃問題、駐輪・駐

車場問題など「住い」に重点を置

いた活動を進めてまいります。会

員の皆さんの様々な意見を集約す

るために号棟集会、課題別懇談会、

会報「ゆり北」での意見発表など

展開していきますので、ご協力下

さい。

百分の合意はあり得ませんが、

それに近づく努力はおしまないつもりです。役員、自治委員、世話人の皆様とともに、この一年間よろしくお願いいたします。

新年度にむけての抱負

副会長 原島 健一

「ゆり北自治会」は本年度で第七

期目を迎えました。学校というなら

ば小学校の課程を修了し、中学一年

に入学といったところで、新しい役

員体制のもと、第二ステップを踏み

出す時期と心得ています。

この間、自治会活動も多くの方々の

尽力によって各種事業、行事などが

定着し、いろいろな面で実績と成

果が見られると思います。

しかし、団地内外の環境変化によ

り、私たち住民が対応しなければ

役員活動費(役員、自治委員等の電話代相当)の取り扱いについては、事務費でよいという意見が強く出され、六月の自治委員会で、会計規程、予算の修正を行うことで、全議案を満場一致で決定しました。

役員選挙の経過と選挙(信任投票)の結果について、関選挙管理委員長(十一一八〇七)から報告がありました。投票総数は、八十九票で圧倒的多数で全員信任されました。

最後に、退任役員、新任役員をそれぞれ紹介して三時間の総会が終了しました。今年は二十一名の役員のうち八名が入れました。新しい力に期待が持たれます。

総会終了後、十二号棟集会所で四十名が参加して懇親会も行われました。

主な質疑・応答

Q 駐車場の対策に対する具体案は、周辺の駐車場が年々減っている。賃金は、公団交渉で取りあげているがコスト面で難色をしめしている。

ならないことも出ています。たとえば駐車場が不足してきた点や、賃貸住宅では家賃への消費税課税、家賃値上げの動きなど、また、住戸内の修繕問題も現実的になってきました。

本年度は、こうした現状を踏まえ活動方針の第一に「住宅施設・設備環境問題を柱に、団地の生活と環境を守る」ことが掲げられていますが、これらの問題にアタックし、確実な成果を上げていくには、役員の機動力もさることながら、会員の皆さんの協力が不可欠です。

皆さんの意見を反映し、具体的な形で活動に取り組みたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第7期・ゆりの木北自治会役員名簿

1989・5・15

役職	氏名	住所	電話	任務(◎印・責任者)	担当棟
役 会 長	吉柳 俊孝	4-403	938-9181	◎町連・光連協・広報部	2
	小山 洋子	1-402	975-2436	◎公団自治体部 ◎自治協	
	渡辺 維生	11-310	977-2844	◎文化体育部 ◎青対	11
副 会 長 (3名)	原島 健一	12-503	977-0902	◎生活環境部 ◎光連協	12
	阿部 憲一	10-809	977-1632	◎事務局	10
	加賀谷 宏	11-208	977-3753	◎事務局・民生委員	
事 務 局 長	増田 和子	1-705	977-0224	生活環境部(公団自治体部)	1
	中森 弘子	1-710	975-5586	生活環境部(公団自治体部)	
	加藤 光一	1-807	977-3910	公団自治体部(事務局)	
	福田 英治	3-404	975-2413	◎広報部	3
	伊勢 正幸	4-306	977-2439	生活環境部	4
	渡辺 利治	4-705	977-2347	公団自治体部	
	小金山光雄	5-305	977-2590	事務局	5
	森 秀人	6-304	939-5957	文化体育部・青対	6・7
	蔵内 清種	9-202	977-1618	文化体育部・青対	8・9
	竹内 朝子	10-905	977-9340	広報部	
	清水知恵子	13-203	977-2761	生活環境部	13
	本間 力	13-406	977-3868	生活環境部	
	徳武 邦守	14-309	975-3786	公団自治体部	
	有泉美代子	14-312	977-2897	事務局	14
	堤 達	14-409	977-7283	広報部	
会 計 監 査 (2名)	柳沢 明	4-902	977-2194		
	黒田 清子	13-307	975-3298		

る。分譲は、管理組合への提案になるが、新聞討論でも各位の慎重論があり、住民相互の理解を深めたい。

Q 新しい団地で二階式を導入しているが、コストなど調査を。

A いちよう通り団地での取り組みなどを研究したい。

Q IMAに行くバス路線を。

A 今まで三〇一、三〇二の総量規制を求めて来た。地下鉄開通などの新しい局面もあり、総合的に考えて行きたい。

Q 夜警の連絡体制が不備だったが指摘のとおり、役員でも不徹底であった。早めに体制を作る。今後自治委員等の協力をお願いする。

Q 広報費や事務費は、決算に比べて少ないのではないか。

A 前年は、五周年など特別な要素もあった。不足する状況になれば補正予算を考える。

Q 特別会計の扱い、広報と総会提案では違っているが。

A 前年度でも積み立てたいと考えていたが、決算の結果難しかった。今回、修正して提案したのでご了承願いたい。

Q 会費の管理が不十分、集金に行ったら振込になっていったなど。

A 領収書の改善を今年度行う。また銀行と協議して、振り込み情報を速く振込で連絡する。

Q 会計担当は二名にした方がよい。

A 幹事の任務分担で配置する。

Q 消費税や家賃などの具体的な取り組みは、

A 二十三区自治協からは署名運動や集会参加の要請が来ている。学習会も計画したい。

Q 役員活動費は、その中味から見ても事務費でよい。この金額(役員月五百円)では、「活動費」をもらっているといえない。電話代などの実費弁償ではないか。

A 事務費の扱いに修正する。

Q 公園駐車場への対応はどうなったのか。

A 当初、自治会では分散配置を要求してきた。都は当初案を基本的には変えていない。ゆり北前の広場は、現状の「誰でも使える原っぱ」として残すことを、自治会案として対処してゆく。

この他、ゆりの木学童保育クラブが定員70名に増員の報告があった。

有楽町線 今秋に増発ダイヤ改正

II 営団から回答II

去る三月営団有楽町線のラッシュ時の混雑緩和を図るため「増発」の要望書を帝都高速度交通営団に提出しましたところ、営団より次のとおり回答がありました。

一、有楽町線の増発

新造電車二台を増備し、本年秋にダイヤ改正を行う予定である。

二、冷房車輛の増備

昨年より車輛冷房を順次実施していくことになり、有楽町線は昨年の五〇輛に加え、本年は新たに三〇輛を冷房化する。冷房化率は二五％であるが、乗り入れの東上線車輛を含めると三八％の冷房化率となる。

営団の回答から考えると一時間に一本程度の増発ではありますが、住民の声の実現に一歩踏み出した成果

青対事業予定

尾瀬ハイイク・スキー等

- 四月十五日(土)、青少年対策下赤塚地区委員会の総会が行われ、平成元年度の事業計画が決まりました。
- 六月 歩け歩け大会(荒川堤)
- 七月 社会を明るくする運動・講演会(赤塚公会堂)
- 七月 少年野球、少女バレー、ママさんバレー(赤塚体育館他)
- 八月 尾瀬ハイキング(申込制)
- 十月 下赤塚地区大運動会(下赤塚小学校校庭)
- 十月 子ども芋ほり大会(管内)

シリーズ バードウォッチング

公園にいるよ③ カッコウ

ねりま自然のななかま

田中 勝子

五月の光が丘公園では夏鳥の代表カッコウが、スターなみの人気です。早朝の公園を利用する人たちから情報が寄せられますが、連休の頃に聞くカッコウの声は渡りの途中のもので、姿がみられるのは、毎年五月二十日過ぎです。

光が丘公園ではカッコウの行動範囲と、オナガの行動範囲が重なっていることがわかり、もしや?と期待したのですが、昨年はオナガの巣にはオナガのヒナしかいませんでした。

“カッコウ、カッコウ……”の声はさわやかに響き、高原にいるような気分させてくれるので、ファンも多いのですが、カッコウの托卵の習性を知ると、とたんに嫌われてしまう鳥でもあります。カッコウは自分で子育てをせず、他の鳥の巣に卵を産みつけます。



ことしも、調べてみたいと思っています。ところで、カッコウは何を食べているのでしょうか。くちばしに注目! 細くながってピンセットのようですね。ある時、野球場北側のネット裏で枯れかけたトチノキに止っている姿をみました。プロミナーでのぞくと、トチノキにたくさん毛虫がついていました。もうわかったでしょう。このように、くちばしの形をみるとその食性を知ることができるんですよ。おしまいに、カッコウと出あえるヒントを一つ。この夏、日の出を待って公園へいってごらん下さい。大きな木のテッペンで、ハト位の大きさの尾の長い鳥をみつけたら……、”カッコウ……”と鳴くかもしれません。

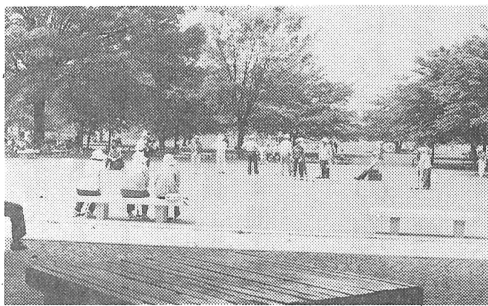
十二月 雪国探検隊(猪苗代スキー場・申込制)

一月 成人の日のつどい

一月 新春子供フェスティバル(下赤塚小学校校庭)

三月 こども映画大会(赤塚公会堂)です。年間予定表を配布しますのでふるってご参加下さい。

今年度、青対事業に実行委員として高橋廣志さん(五九〇六)、小田切稔さん(一一四〇四)に参加していただきます。よろしく願います。



戦争と私

ゆりの木会 村上行夫

東條英機と云えば戦争を切り抜けて来られた方は御存でしょう。内閣総理大臣と云うよりも戦争犯罪人としての方が印象が深いのではないのでしょうか。而し私の部屋には大政翼賛會總裁内閣総理大臣としての肩書きの賞状が額に入れて掲げてあります。戦争もたけなわの昭和十八年二十八歳で産業報告会主催の技能競練大会の十六部門の一つに会社を代表して出場し見事に優勝して戴いた賞状です。あの頃は聖戦とか産業戦士等とおだてられて良く働いたものです。戦争に勝つためには昼も夜もなく土曜といえども毎晩十時まで残業し電車通勤以外のものは十時から又二時間のダブル残業をさせられました。

時には徹夜もありまして、明け方の四時までで、二階が被服部でしたので軍隊の防寒外套の裏に付ける毛皮にくるまって仮眠します。本当に良く体が続いたと思います。

部所部所の聯合請負で定数以上出ると一つ幾らの歩合が付きます。其の頃私の定時の給料が百五十円位でした。十時までの残業分は給料袋に入りますが、十時以後の残業分と定数以上の歩合は成績のイカンに依って現金で渡されましたから毎月の収入は給料の三倍位になりました。私の会社は重工業ではなく軽工業です。から年二回の賞与と言っても雀の涙程度でそれも半分は債券でしたが、月二回の休日に外に行っても映画を観る位で食べ物屋もない時代で、私は酒も煙草もみませんでしたから結構貯金もできました。

二十年四月の城北地区の空襲で私の家も焼かれてしまいました。残っ

今年の「ゆり北」一月号より新聞討論を開始し、「自治会員・非会員の問題」と「駐車場(スペース)の問題」について皆様方の御意見を提供頂きました。これらの問題に対する新聞討論は計三回実施し、提供された意見総数も八十七となり、意見の方向性もほぼ確認できたので、今年の三月号をもって終わらせて頂きます。貴重な皆様の御意見を

新聞討論のお知らせ

自治会活動に役立てるよう努力するつもりです。また、これらの問題に対する自治会の取り組み方については、現在当役員会で討論中ですので、その結果を六月か七月号に発表しようと考えています。

来月六月号より皆様にとってより関心がある「住宅施設・環境問題」を取り上げますので、皆様の御協力をお願いします。

「ゆり北」に投稿してみませんか!

会報は皆様方のものです。参加してみませんか。今までの投稿者に聞くと、かならず、自分の作品では「はずかしい」とか「他人に笑われるのでは?」という気持ちがあるようです。もっと自信を持つべきです。自分の作品が活字になるのは大変すばらしく大したことです。自分もなかなかのものだと思えるようになりますよ! さあ皆様是非とも参加を!! テーマとしては例えば「書籍紹介」「わがふるさと紹介」「サークル紹介」「楽しい人間紹介」「楽しくするための旅行紹介」「安くて良いものが買える店紹介」「住宅修繕業者紹介」「不用品贈呈案内」等々。

私の生き甲斐

ゆりの木会 十号棟 高槻 茂

私達の年齢となると特に健康であるという事が有難くしみじみと身にしみてまいります。そして健康にて何か自分なりの生きる目的と生き甲斐を持ちたいと常々思うものであります。私は幸いにも会社を退職してからは第二の人生の生き甲斐を老人クラブで発見致しました。健康増進になる為に旅行、ゲートボール、ダンス等目下楽しく挑戦致して居ります。お蔭でスバラシイ友人、知人が沢山できました。これからも自分でも出来る事であれば喜んで挑戦してゆくつもりであります。只今では至極健康にて可愛い孫達に囲まれ生きる喜びの日々を味わって幸せに暮らしています。

編集後記

新緑が大変美しい季節となりましたが、皆様どうお過ごしでしょうか? 広報「ゆり北」も平成元年度をむかえることとなりますが、広報部員一同今年も読み易く、皆様ににとって有益な「ゆり北」を作成していきたいと思っておりますので、絶大なるご協力をお願い致します。